

大日本地震史料

卷之一

自允恭天皇五年
至仁和三年

允恭天皇五年七月十四日己丑、河內國地震フ、

〔日本書紀〕十三

雄朝津間稚子宿禰天皇○允恭五年秋七月丙子朔、己丑、地震、

推古天皇七年四月二十七日辛酉、大和國地震ヒ

屋舎ヲ壞ル、勅シテ地震ノ神ヲ祭ラシメ給フ、

〔日本書紀〕二十二

豐御食炊屋姬天皇○推古七年夏四月乙未朔、辛酉、地動、舍屋

悉破、則令四方、俾祭地震神、

皇極天皇元年十月八日庚寅、大和國地震フ、

〔日本書紀〕二十四

天豐財重日足姬天皇○皇極元年冬十月癸未朔、庚寅、地震而

雨、

同月九日辛卯、大和國地震ヒ、夜又震フ、

〔日本書紀〕二十四

辛卯、地震、是夜地震而風、

同月二十四日丙午、是夜、大和國地震フ、

〔日本書紀〕二十四

丙午、夜中地震、

天智天皇三年春、大和國地震フ、

〔日本書紀〕二十七

天命開別天皇○天智三年、是春地震、

天武天皇三年十一月、大和國地震フ、

〔日本書紀〕二十九

天淳中原瀛真人天皇○天武四年十一月辛丑朔、是月大地動、

○日本書紀ハ天武天皇ヲ以テ直ニ天智天皇ノ統ヲ承ケ、壬申歲ヲ即位元年トナセリ、然レドモ壬申ハ弘文天皇ノ即位元年ニシテ、天武天皇ノ即位ハ

癸酉歲二月二十七日ニアリ、大日本史之ヲ辨ズルコト詳ナリ、今之ニ從ヒ、

癸酉歲ヲ天武天皇即位元年ト爲シ、即位四年ヲ三年ト爲ス、以下皆之ニ倣ヘリ、

同五年六月十四日乙巳、大和國地強ク震フ、

〔日本書紀〕二十九

六年六月壬辰朔、乙巳、大震動、

〔類聚國史〕十一

天武天皇六年六月壬辰朔、乙巳、大地震動、

同六年十二月、筑紫國地大ニ震ヒ、大地裂ケ民舍

允恭天皇五年 推古天皇七年 皇極天皇元年 天智天皇三年 天武天皇三年、五年、六年

多ク壞レタリ、

(日本書紀)二十九

七年十二月癸丑朔、是月、筑紫國大地動之、地裂廣二丈、長三千餘丈、百姓舍屋、每村多仆壞、是時、百姓一家有于岡上、當于地動夕、以岡崩處遷、然家既全而無破壞、家人不知岡崩家避、但會明後、知以大驚焉、

同七年十月十一日戊午、大和國地震フ、

(日本書紀)二十九

八年冬十月戊申朔、戊午、地震、

十一月十四日庚寅、大和國地震フ、

(日本書紀)二十九

十一月丁丑朔、庚寅、地震、

同八年九月二十三日乙未、大和國地震フ、

(日本書紀)二十九

九年九月癸酉朔、乙未、地震、

同九年三月二十一日庚寅、大和國地震フ、

(日本書紀)二十九

十年三月庚午朔、庚寅、地震、

六月二十四日壬戌、大和國地震フ、

(日本書紀)二十九

六月己亥朔、壬戌、地震、

十月十八日癸未、大和國地震フ、

(日本書紀)二十九

冬十月丙寅朔、癸未、地震、

十一月二日丁酉、大和國地震フ、

(日本書紀)二十九

十一月丙申朔、丁酉、地震、

同十年一月十九日癸丑、大和國地震フ、

(日本書紀)二十九

十一年春正月乙未朔、癸丑、地動、

三月七日庚子、大和國地震フ、

(日本書紀)二十九

三月甲午朔、庚子、地震、

七月十七日戊申、大和國地震フ、

(日本書紀)二十九

秋七月壬辰朔、戊申、地震、

八月十二日癸酉、大和國地震フ、

(日本書紀)二十九

八月壬戌朔、癸酉、大地動、

同月十七日戊寅、大和國地震フ、

〔日本書紀〕二十九

戊寅、亦地震、

同十二年十月十四日壬辰、諸國地大ニ震フ、就

中、土佐國最モ激烈ヲ極メ、田苑五十餘萬頃没シ

テ海ト爲リ、伊豫國ノ温泉亦屏止セリ、

〔日本書紀〕二十九

十三年冬十月己卯朔、壬辰、逮于^{非トキ}人定大地震、舉國男女叫唱

不知東西、則山崩河涌、諸國郡官舍、及百姓倉^{○類聚國史、屋寺舍ニ作レリ、}

塔、神社、破壞之類不可勝數、由是人民及六畜多死傷之、時伊

豫湯泉沒而不出、土左國田苑五十餘萬頃、沒爲海、古老曰、若

是地動未曾有也、

同十二年十二月十日辛巳、大和國地震フ、

〔日本書紀〕二十九

十四年十二月壬申朔、辛巳、自西發之地震、

朱鳥元年一月十九日庚申、大和國地震フ、

〔日本書紀〕二十九

朱鳥元年春正月壬寅朔、庚申、地震、

十一月十七日癸丑、大和國地震フ、

〔日本書紀〕三十

高天原廣野姬天皇^{○持統天皇}、朱鳥元年十一月丁酉朔、癸丑、地震、

大寶元年三月二十六日己亥、丹波國地震フコト

三日ニ涉レリ、

〔續日本紀〕三

大寶元年三月甲戌朔、己亥、丹波國地震三日、

和銅五年六月七日乙巳、大和國地震フ、

〔續日本紀〕五

和銅五年六月己亥朔、乙巳、地震、

靈龜元年五月二十五日乙巳、遠江國地大ニ震ヒ、

山崩レテ麤玉河ヲ壅グ、尋テ決潰シテ多ク民家

禾苗ヲ損ゼリ、

〔續日本紀〕六

和銅八年^{○靈龜元年}五月辛巳朔、乙巳、遠江^{○類聚國史、江地震、山崩ノ下ニ國アリ}

壅麤玉河、水爲之不流、經數十日潰^{○類聚國史、潰ノ下ニ流アリ}、沒敷智長下

石田三郡民家百七十餘區、并損苗、

同月二十六日丙午、三河國地大ニ震フ、

〔續日本紀〕六

靈龜元年、二年 養老三年、四年、五年 天平四年、六年

丙午、參河國地震、壞正倉四十七、又百姓廬舍、往々陷沒、

七月十日己丑、大和國地震フ、

(續日本紀)六

七月庚辰朔、己丑、地震、

同二年一月四日辛巳、大和國地震フ、

(續日本紀)七

靈龜二年正月戊寅朔、辛巳、地震、

養老三年三月二十六日乙卯、大和國地震フ、

(續日本紀)八

養老三年三月庚寅朔、乙卯、地震、

同四年二月十五日戊戌、大和國地震フ、

(類聚國史)百七十一

養老四年二月甲申朔、戊戌、夜地動、○續紀、コノ地動ヲ載セズ、

同五年一月二十四日辛未、大和國地震フ、明日、

又震フ、

(續日本紀)八

養老五年春正月戊申朔、辛未、地震、○壬申、亦震、

二月七日甲申、大和國地震フ、

(續日本紀)八

二月戊寅朔、甲申、地震、

十二月二十九日、大和國地震フ、

(續日本紀)八

十二月癸酉朔、辛丑、地震、

天平四年七月十五日丙辰、大和國地震フ、

(續日本紀)十一

天平四年秋七月壬寅朔、丙辰、地震、

十二月二十二日辛卯、大和國地震フ、

(續日本紀)十一

十二月庚午朔、辛卯、地震、

同六年四月七日戊戌、畿内七道諸國地大ニ震フ、

(續日本紀)十一

天平六年夏四月壬辰朔、戊戌地大震、○類聚國史、大地震ニ作レリ、壞天下百

姓廬舍、壓死者多、山崩河壅、地往々折○類聚國史、折裂不可勝

數、

癸卯、遣使畿内七道諸國、檢看破地震神社、

戊申、詔曰、今月七日地震殊常、恐動山陵、宜遣諸王真人、副土師宿禰一人、檢看諱所八處、及有功王之墓、又詔曰、地震之災、恐由政事有關、凡厥庶寮、勉理職業、自今以後、若不改勵、隨其狀迹、必將貶黜焉、

秋七月庚申朔、辛未、詔曰、朕撫育黎元、稍歷年歲、風化尙壅、囹圄未空、通且忘寐、憂勞在茲、頃者天類見異、地數震動、良由朕訓導不明、民多入罪、責在一

人、非關兆庶、宜令存寬宥而登仁壽、蕩瑕穢而許自新、可大赦天下、其犯八虐、故殺人、謀殺殺訖、別勅長禁、劫賊傷人、官人史生枉法受財、盜所監、造偽至死、掠良人爲奴婢、強盜竊盜、及常赦所不免、並不在赦例、

九月二十四日壬午、大和國地震フ、

(續日本紀)十一

九月己未朔、壬午、地大震、

同九年十月十九日己未、大和國地震フ、

(續日本紀)十二

天平九年冬十月辛丑朔、己未、地震、

同十年九月六日辛丑、大和國地震フ、

(續日本紀)十三

天平十年九月丙申朔、辛丑、地震、

同十四年三月二十四日己巳、山城國地震フ、

(續日本紀)十四

天平十四年三月丙午朔、己巳、地震、

十月二十三日甲午、大隅國是日ヨリ二十八日ニ

至ルマデ空中聲アリ、地大ニ震動セリ、

(續日本紀)十三

十一月壬寅朔、壬子、大隅國司言、從今月二十三日未時至二

十八日、空中有聲如大鼓、野雉相驚、地大震動、○丙寅、遣使

於大隅國檢問、并請聞神命、

○壬子八十五日ナリ、今月二十三日トイヘルハ、蓋、十月ナルベシ、

十二月十六日丁亥、山城國地震フ、

(續日本紀)十四

十二月壬申朔、丁亥、地震、

同十五年七月十七日庚寅、山城國地震フ、

(續日本紀)十五

天平十五年秋七月戊戌朔、庚寅、地震、

同十六年五月十二日庚戌、肥後國地震フ、

(續日本紀)十五

天平十六年五月癸亥朔、庚戌、肥後國雷雨地震、八代、天草、

葦北三郡官舎、并田二百九十餘町、民家四百七十餘區、人千

五百二十餘口、被水漂沒、山崩二百八十餘所、壓死人四十餘

人、并加賑恤、

同十七年四月二十七日甲寅、美濃、攝津兩國地大

ニ震フ、美濃最モ甚シ、多ク人家ヲ壞レリ、餘震

月ヲ越エテ止マズ、

(續日本紀)十六

天平十七年夏四月戊子朔、甲寅、是日通夜地震三日三夜、美

天平十七年、十八年

濃國櫓館正倉、佛寺堂塔、百姓廬舍、觸處崩壞、

五月戊午朔、地震、

己未、地震、令京師諸寺、限一七日轉讀最勝王經、

庚申、地震、

辛酉、地震、

壬戌、地震、日夜不止、

癸亥、地震、

甲子、地震、

乙丑、地震、於大安、藥師、元興、興福四寺、限三七日令讀大王集經、

丙寅、地震、

丁卯、地震、讀大般若經於平安宮、

癸酉、地震、

乙亥、地震、

是月、地震異常、往々拆裂、水泉涌出、

七月十七日壬申、攝津國地震フ、明日、又震フ、

(續日本紀)十六

秋七月丙辰朔、壬申、地震、

癸酉、地震、

八月二十四日己酉、攝津國地震フ、

(續日本紀)十六

八月丙戌朔、己酉、地震、

同月二十九日甲寅、攝津國地震フ、

(續日本紀)十六

甲寅、地震、

九月二日丙辰、攝津國地震フ、

(續日本紀)十六

九月乙卯朔、丙辰、地震、

同十八年一月十四日丙寅、大和國地震フ、

(續日本紀)十六

天平十八年春正月癸丑朔、丙寅、地震、

同月二十九日辛巳、大和國地震フ、夜又震フ、

(續日本紀)十六

辛巳地震、夜又震、

同月三十日壬午、大和國地震フ、

(續日本紀)十六

壬午、地震、

六月五日丙戌、大和國地震フ、

(續日本紀)十六

六月壬午朔、丙戌、地震、

九月十三日壬戌、大和國地震フ、

(續日本紀) 十六

九月庚戌朔、壬戌、地震、

閏九月十三日辛卯、大和國地震フ、

(續日本紀) 十六

閏九月己卯朔、辛卯、地震、

同十九年五月十二日丁亥、大和國地震フ、

(續日本紀) 十七

天平十九年五月丙子朔、丁亥、地震、

天平勝寶四年一月十一日己丑、大和國地震フ、

(續日本紀) 十八

天平勝寶四年春正月己卯朔、己丑、地動、

十月一日甲戌、大和國地震フ、明日又震フ、

(續日本紀) 十八

冬十月甲戌朔、地震、○乙亥又震、

天平寶字六年五月九日丁亥、美濃、飛驒、信濃諸

國地大ニ震フ、

(續日本紀) 二十四

天平寶字六年五月己卯朔、丁亥、美濃、飛驒、信濃等國地震、
賜被損者穀家二斛、

天平神護二年六月五日己丑、大隅國神造新島、地
震動シテ息マズ、居民多ク流亡セリ、

(續日本紀) 二十七

天平神護二年六月乙酉朔、己丑、大隅國神造新島、震動不息、
以故民多流亡、仍加賑恤、

寶龜四年二月十七日壬戌、大和國地震フ、

(續日本紀) 三十二

寶龜四年二月丙午朔、壬戌、地動、

同月三十日乙亥、大和國地震フ、

(續日本紀) 三十二

乙亥、地震、

八月二十九日壬申、大和國地震フ、

(續日本紀) 三十二

八月甲辰朔、壬申、地動、

十月一日癸卯、大和國地震フ、

(續日本紀) 三十二

冬十月癸卯朔、地震、

同月四日丙午、大和國地震フ、

(續日本紀)三十二

丙午、地震、

同六年二月八日辛未、大和國地震フ、

(續日本紀)三十三

寶龜六年二月甲子朔、辛未、地震、

五月四日丙申、大和國地震フ、

(續日本紀)三十三

五月癸巳朔、丙申、地震、

十月六日丙寅、大和國地震フ、

(續日本紀)三十三

冬十月辛酉朔、丙寅、地震、

甲申、大稜、以風雨及地震也、

同七年十月九日癸巳、大和國地震フ、

(續日本紀)三十四

寶龜七年冬十月乙酉朔、癸巳、地震、

十一月二日丙辰、大和國地震フ、

(續日本紀)三十四

十一月乙卯朔、丙辰、地震、

同九年五月二十二日丁卯、大和國地震フ、

(續日本紀)三十五

寶龜九年五月丙午朔、丁卯、寅時地震、

同月二十六日辛未、大和國地震フ、

(續日本紀)三十五

辛未、又震、

天應元年三月六日乙丑、大和國地震フ、

(續日本紀)三十六

天應元年三月庚申朔、乙丑、地震、

五月四日壬戌、大和國地震フ、

(續日本紀)三十六

五月己未朔、壬戌、地震、

同月十三日辛未、大和國地震フ、

(續日本紀)三十六

辛未、地震、

六月十二日己亥、大和國地震フ、

(續日本紀)三十六

六月戊子朔、己亥、地動、類聚國史、動ヲ震ニ作レリ、

同月二十二日己酉、大和國地震フ、

(續日本紀) 三十六

己酉、地震、

十月十日乙未、大和國地震フ、

(續日本紀) 三十六

冬十月丙戌朔、乙未、地震、

十一月三日丁巳、大和國地震フ、

(續日本紀) 三十六

十一月乙卯朔、丁巳、地震、

同月二十七日辛巳、大和國地震フ、

(續日本紀) 三十六

辛巳、地震、

十二月十二日丙申、大和國地震フ、

(續日本紀) 三十六

十二月乙酉朔、丙申、地震、

同月二十四日戊申、大和國地震フ、

(續日本紀) 三十六

戊申、地震、

延曆元年閏一月十三日丙申、大和國地震フ、

(續日本紀) 三十七

天應二年○延曆元年閏正月甲申朔、丙申、地震、

同月十五日戊戌、大和國地震フ、

(續日本紀) 三十七

戊戌、地震、

二月十九日壬申、大和國地震フ、

(續日本紀) 三十七

二月甲寅朔、壬申、地動、

六月十四日乙丑、大和國地震フ、

(續日本紀) 三十七

六月壬子朔、乙丑、是日地震、

七月二十五日丙午、大和國地震フ、

(續日本紀) 三十七

秋七月壬午朔、丙午、是日地震、

同二年一月二十三日庚子、大和國地震フ、

(續日本紀) 三十七

延曆二年春正月戊寅朔、庚子、是日地震、

同四年五月二十七日辛酉、山城國地震フ、

(續日本紀) 三十八

延曆四年五月乙未朔、辛酉、地震、

九月三日乙未、山城國地震フ、

(續日本紀)三十八

九月癸巳朔、乙未、地震、

同五年一月二十八日己未、山城國地震フ、

(續日本紀)三十九

延曆五年春正月壬辰朔、己未、地震、

同九年十一月十五日丁丑、山城國兩度地震フ、

(續日本紀)四十

延曆九年十一月癸亥朔、丁丑、辰時地震、巳時又震、

十二月十三日甲辰、山城國地震フ、

(續日本紀)四十

十二月壬辰朔、甲辰、地震、

同十一年二月二十七日壬午、山城國地震フ、

(類聚國史)十七

延曆十一年正月丙辰朔、壬午、地震、

同十二年八月三十日丙子、山城國地震フ、

(類聚國史)十七

延曆十二年八月丁未朔、丙子、地震、

十月十五日庚申、山城國地震フ、

(類聚國史)十七

延曆十二年十月丙午朔、庚申、地震、

同十三年一月十五日己丑、山城國地震フ、

(類聚國史)十七

延曆十三年正月乙亥朔、己丑、地震、

六月十三日甲寅、山城國地震フ、

(類聚國史)十七

六月壬寅朔、甲寅、地震、

九月一日辛未、山城國地震フ、

(類聚國史)十七

九月辛未朔、地震、

同月二日壬申、山城國地震フ、

(類聚國史)十七

壬申、地震、

同十六年八月十四日丁卯、山城國京都地震フ、

(類聚國史)十七

延曆十六年八月甲寅朔、丁卯地震暴風、左右京坊門百姓屋

舍、倒仆者多、

同十七年四月十日庚申、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

延曆十七年四月辛亥朔、庚申、地震、

同十八年十一月四日甲辰、京都地震フ、

(日本後紀) 八

延曆十八年十一月辛丑朔、甲辰、地震、

同二十三年八月十一日癸丑、京都地震フ、

(日本後紀) 十八

延曆二十三年八月癸卯朔、癸丑、地震、

九月二十七日戊戌、京都地震フ、

(日本後紀) 十二

九月壬申朔、戊戌、地震、

同二十四年一月二十五日乙未、京都地震フ、

(日本後紀) 十三

延曆二十四年春正月辛未朔、乙未、地震、

七月十七日甲申、京都地震フ、

(日本後紀) 十三

秋七月戊辰朔、甲申、地震、

八月九日乙巳、京都地震フ、

(日本後紀) 十三

八月丁酉朔、乙巳、地震、

十二月五日庚子、京都地震フ、

(日本後紀) 十三

十二月丙申朔、庚子、地震、

大同二年五月二十五日壬子、京都強震アリ、

(類聚國史) 十一

大同二年五月戊子朔、壬子、地大震、

弘仁元年六月二十六日甲午、是夜、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

大同五年^{○弘仁元年}六月己巳朔、甲午、夜地震、

同二年十二月十六日丙子、京都地震フ、

(日本後紀) 三十一

弘仁二年十二月辛酉朔、丙子、地震、

同七年十月八日己亥、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

弘仁七年十月壬辰朔、己亥、地震、

同八年十二月十三日丁卯、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

弘仁八年十二月乙卯朔、丁卯、地震、

同月十八日壬申、京都地震フ、

〔類聚國史〕^{十七}

壬申、地震、

同月二十日甲戌、京都地震フ、

〔類聚國史〕^{十七}

甲戌、地震、

同九年七月、相摸、武藏、下總、常陸、上野、下野等諸

國、地大ニ震フ、

〔類聚國史〕^{十七}

弘仁九年七月、相摸、武藏、下總、常陸、上野、下野等國、地震、

山崩谷埋數里、壓死百姓不可勝計、

八月庚午、遣使諸國、巡省地震、其損害甚者、加賑恤、詔曰、朕以虛昧、飲若寶圖、撫育之誠、無忘武步、王風猶鬱、帝載未熙、咎懲之臻、此爲特甚、如聞上野國等境、地震爲災、水潦相仍、人物凋損、雖云天道高遠、不可得言、固應政術有虧、致茲靈譴、自貽民瘼、職朕之由、薄德厚顏、愧于天下、靜言厥咎、實所興嘆、豈有民危而君獨安、子憂而父不念者也、所以殊降使者、就加存慰、其有因震潦居業蕩然者、使等與所在官司、同斟量免今年租稅調、并不論民夷、以正稅賑恤、助修屋宇、使免飢露、壓沒之徒、速爲斂葬、務盡寬惠之旨、副朕迴瞻之心、九月辛卯詔曰、云云、比者地震害及黎元、吉凶由人、殃不自作、或恐渙汗乖越、方失叱心、降茲厚譴、以警勗與、畏天之威、不違寧處、決之龜筮、時行告告、昔天

同十四年六月二十四日丁未、京都地震フ、

事具前
條部

〔類聚國史〕^{十七}

弘仁十四年六月甲申朔、丁未、地震、

八月十二日癸巳、京都地震フ、

〔類聚國史〕^{十七}

八月壬午朔、癸巳、地震、

十二月九日乙丑、京都地震フ、

〔類聚國史〕^{十七}

十二月辛巳朔、乙丑、地震、

天長二年二月十七日辛酉、京都地震フ、

〔類聚國史〕^{十七}

天長二年正月乙巳朔、辛酉、申刻地震、

二月二十六日庚子、京都地震フ、

〔類聚國史〕^{十七}

二月乙亥朔、庚子、地震、

同三年一月五日壬申、京都地震フ、

〔類聚國史〕^{十七}

天長三年正月戊辰朔、壬申、地震、

同月十四日辛巳、京都地震フ、

〔類聚國史〕^{十七}

辛巳、地震、

同月二十三日庚寅、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

庚寅、地震、

二月二十四日辛酉、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

二月戊戌朔、辛酉、地震、

四月十二日己酉、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

四月戊戌朔、己酉、地震、

六月六日壬寅、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

六月丁酉朔、壬寅、地震、

十一月二十二日乙酉、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

十一月甲子朔、乙酉、地震、

十二月十三日乙巳、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

十二月癸巳朔、乙巳、地震、

同四年四月十七日戊申、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

天長四年四月壬辰朔、戊申、地震、

七月十二日辛未、京都地大ニ震ヒ、舍屋多ク頽

レ、餘震年ヲ越エタリ、

(類聚國史) 十一

七月庚申朔、辛未、地震、多類舍屋、一日之内大震一度、小動七八度、

癸酉、地動不止、亥刻地大震、每地震皆有聲、

甲戌、震動、

乙亥、地震二度、

戊寅、地大震二度、

庚辰、地震、

辛巳、地震、

癸未、卯刻地震、午四刻地震、夜半地大震、

甲申震動、雨降、戌刻地震、

丙戌、地大震、

戊子、地震、

己丑、地震、午刻亦大動、未刻亦動、

震災豫防調查會報告第四十六號

甲

八月壬辰、地震、

甲午、地震、

乙未、午刻地震、子剋地震、丑刻亦地震、

丁酉、地震、

辛丑、地震、

癸卯、地動、有聲如雷、

甲辰、地震、

乙巳、申刻地震、

戊申、地震、

辛亥、地震、

癸丑、辰刻地動、酉刻又地動、

九月庚申、地震、聲如雷、辛酉亦如之、

丙寅、地動、

丁卯地動、聲如雷、戊辰亦如之、

己巳、地動、

壬申、地震有聲、

甲戌、地大震有聲、

己卯、地震、聲如雷、

辛巳、地震、聲亦如雷、

十月庚寅、地震、聲如雷、寅剋又地動、

壬辰、酉剋地震、

己亥、地震、聲如雷、寅剋又地震、

十一月癸酉、地震、

庚辰、地大震、聲如雷、

壬午、地震、

丁亥、地震、

十二月戊子、地震、

己丑、地震、

辛丑、屈請清行僧百口於大極殿、轉讀大般若經三箇日、爲停地震、

癸卯、地震、雪降、

丙午、地震、

五年二月辛卯、地震、

戊戌、地震、

辛丑、地震、

三月己未、地震、

丙寅、地震、

六月丁巳、地震、

己未、地震、

己卯、地震、

〔天長五年〕七月壬子、詔曰、朕以菲虛、不紹睿業、道謝藏用、化慙中孚、春冰兢

々、日慎無劼、秋駕懷々、夕惕何忘、而薄德靡明、翹心未高、至和有虧、咎徵若

臻、頃者坤德僭叙、山崩地震、妖不自作、咎寔由人、疑是八政或乖、一物失所

歟、靜言厥過、責在朕躬、貧畏天威、無忘鑒寐、其天下狴狂有寃滯者、有司覆審

情狀、令得申理、又收葬道殣、掩骼埋胔、班白不提、指事使人、老丁之僇、永從

寬免、八十已上、及鰥寡孤獨、不能自存者、簡賜物、早以頒示、咸使聞知矣、

〔五年〕八月甲子、右大臣從二位兼行皇太子傳藤原朝臣緒嗣等言、臣聞陰陽平

分、帝德修以休、若天地何心、皇道虧以震、神理不違、冥符契合者、伏惟、皇

帝陛下得一居貞、通三馭極、鄒龜食和、交區負照、祥雲玉葉、泛碧宇而飛慶、靈

芝金莖、犯丹墀而吐瑞、彗云、盛明豈不宜乎、臣等伏見去月廿九日明詔、坤德

僭叙、山崩地震、引咎聖躬、密噴睿慮、臣等恐伏愧慙、如真炎炭、夫譴譏之來、

或緣股肱、災害之興、未必元首、是以倉擾生蝗、噴非漢主、專擅震地、罪歸宋

臣、臣等翼亮未効、天工永曠、不會涓塵於和燮、詎可髮髻於平均、遂使臣下之

過、翻爲君上之勞、方知鏗鏘榮章、爲焦心之佩、槐棘垂陰、非涼身之地、不任

屏營慙懇之至、奉表以聞、

天長五年十月癸丑朔、丁巳、地震動、

〔類聚國史〕^{十一}

同月二十二日甲戌、京都地震強ク震フ、

〔類聚國史〕^{十一}

甲戌、大地震、

同月二十三日乙亥、京都地震フ、

〔類聚國史〕^{十一}

乙亥、地震、

天長五年、六年、七年

十一月二十五日丁未、京都地震フ、

〔類聚國史〕^{十一}

十一月癸未朔、丁未、地震、

同六年三月一日庚辰、京都強震アリ、

〔類聚國史〕^{十一}

天長六年三月庚辰朔、庚辰、地大震、

九月六日癸未、京都地震フ、

〔類聚國史〕^{十一}

九月戊寅朔、癸未、地震、

十月二十一日乙卯、京都地震フ、

〔類聚國史〕^{十一}

十月丁未朔、丁卯、地震、

同七年一月三日戊寅、出羽國地大ニ震ヒ、秋田城、

四天王寺丈六佛像、四王堂舍等、悉ク倒壞セリ、

〔類聚國史〕^{十一}

天長七年正月丙子朔、癸卯、出羽國驛傳奏云、鎮秋田城國司

正六位上行介藤原朝臣行則、今日辰刻大

地震動、響如雷霆、登時城廓官舍、并四天王寺丈六佛像、四王

堂舍等、皆悉顛倒、城內屋仆、擊死百姓十五人、支體折損之

類、一百餘人也、歷代以來、未曾有聞、地之割辟、或處卅許丈、

或處廿許丈、無處不辟、又城邊大河云秋田河、其水涸盡、流細

天長七年、八年、九年

如溝、疑是河底辟分、水漏通海歟、吏民騷動、未熟尋見、添河
霸別兩岸各崩塞、其水汎溢、近側百姓、懼當暴流、競陟山崗、
理須細錄損物馳牒、而震動一時七八度、風雪相并、迄今不止、
後害難知、官舍埋雪、不能辨錄、夫邊要之固、以城爲本、今已
頽落、何支非常、仍須差諸郡援兵、相副見兵、備不虞者、臣未
審商量、事在意外、仍且差援兵五百人配遣、准令馳驛言上、但
損物色目、細錄進上、

四月戊辰、詔曰、朕以非昧祗膺瑤圖、夤畏三靈、憂勤四海、景化未孚、皇獻尙
鬱、咎徵之噴、不招而臻、如聞出羽國地震爲災、山河致變、城宇頽毀、人物損
傷、百姓無辜、奄遭非命、誠以政道有虧、降斯靈譴、朕之寡德、慙乎天下、靜念
厥咎、甚倍納隍、夫漢朝山崩、據修德以攘災、周郊地震、感善言而弭患、然則尙
已濟民之道、何能不師古哉、所以特降使臣、就加存撫、其百姓居業震陷者、使
等與所在官吏議量、脫當年租調、并不論民夷、開倉廩賑助、修屋宇勿使失職、
壓亡之倫、早從葬埋、務施寬恩、式稱朕意、
五月己卯、屈百僧於大極殿、轉讀大般若經一七日、爲除地震及疫癘之災也、

同月十二日丁亥、京都地震フ、

〔類聚國史〕^{十七}

丁亥、地震、

同月二十二日丁酉、京都地震フ、

〔類聚國史〕^{十七}

丁酉、地震、

八月十四日乙卯、京都地震フ、

〔類聚國史〕^{十七}

八月壬寅朔、乙卯、地震、

十一月五日乙亥、京都地震フ、

〔類聚國史〕^{十七}

十一月辛未朔、乙亥、地震、

同八年三月二十一日己未、京都地震フ、

〔類聚國史〕^{十七}

天長八年三月己亥朔、己未、地震、

六月十四日庚辰、京都地震フ、

〔類聚國史〕^{十七}

六月丁卯朔、庚辰、地震、

八月二十六日辛卯、是夜、京都地震フコト三次、

〔類聚國史〕^{十七}

八月丙寅朔、辛卯、子剋地震三度、

同九年一月十日甲辰、京都地震フ、

〔類聚國史〕^{十七}

天長九年正月乙未朔、甲辰、地震、

同月二十七日辛酉、京都地震フ、

〔類聚國史〕^{十七}

辛酉、地震、

五月七日戊戌、京都地震フ、

(類聚國史)^{十七}

五月壬辰朔、戊戌、地震、

九月十四日癸卯、京都地震フ、

(類聚國史)^{十七}

九月庚寅朔、癸卯、地震、

同月十八日丁未、京都地震フ、

(類聚國史)^{十七}

丁未、地震、

同月二十一日庚戌、京都地震フ、

(類聚國史)^{十七}

庚戌、丑時地震、

同月二十二日辛亥、京都地震フ、

(類聚國史)^{十七}

辛亥、地震、

同十年二月二十四日辛巳、京都強震アリ、

(類聚國史)^{十七}

天長十年二月戊午朔、辛巳、己刻地大震、

六月二十七日癸未、京都地震フ、

(續日本後紀)^三

天長十年六月丁巳朔、癸未、地震、

承和元年六月十八日丁酉、京都地震フ、

(續日本後紀)^三

承和元年六月庚辰朔、丁酉、地震、

同二年三月二日丁未、京都地震フ、

(續日本後紀)^四

承和二年三月丙午朔、丁未、地震、

同三年三月十二日辛亥、京都地震フ、

(續日本後紀)^五

承和三年三月庚子朔、辛亥、地震、

五月二十日戊午、京都強震アリ、

(續日本後紀)^五

五月己亥朔、戊午、大地震、

六月十三日庚戌、京都地震フ、

(續日本後紀)^五

六月戊戌朔、庚戌、地震、

同四年六月十九日庚戌、京都地震フ、

(續日本後紀)^六

承和四年六月壬辰朔、庚戌、地震、

承和四年、五年、六年、七年、八年、九年

一八

七月十六日丁丑、京都地震フ、

(續日本後紀)^六

秋七月壬戌朔、丁丑、地震、

九月二日壬戌、京都地震フ、

(續日本後紀)^六

九月辛酉朔、壬戌、地震、

同五年五月二十八日甲申、京都地震フ、

(類聚國史)^七

承和五年五月丁巳朔、甲申、地震、○續日本後紀、コレ及び六月二日地震ヲ逸セリ、

六月二日戊子、京都地震フ、

(類聚國史)^七

六月丁亥朔、戊子、地震、

同六年四月七日戊午、京都地震フ、

(續日本後紀)^八

承和六年夏四月壬子朔、戊午、地震、

七月八日丁亥、京都地震フ、

(續日本後紀)^八

秋七月庚辰朔、丁亥、地震、

同七年一月十三日庚寅、京都地震フ、

(續日本後紀)^九

承和七年春正月戊寅朔、庚寅、地震、

十月十二日甲寅、京都地震フ、

(續日本後紀)^九

冬十月癸卯朔、甲寅、地震、

同八年二月十三日甲寅、信濃國地大ニ震フ、

(續日本後紀)^十

承和八年二月壬寅朔、甲寅、信濃國言、地震、其聲如雷、一夜

間凡十四度○類聚國史、十ノ上ニ九ノ字アリ、墻屋倒頽、公私共損、

七月、是月伊豆國地大ニ震フ、

(續日本後紀)^十

秋七月己巳朔、癸酉○五詔曰、上玄無私、運神功而下濟、至人忘己、推聖德而敷仁、是以四眚未久、舜貽沉首之憂、一物有違、禹發陸危之軫、朕膺丕命、祇守宗祧、詢萬機而停食、瞻人瘼而失寐、而惠化罔孚、至道猶鬱、咎徵之戒、不言而臻、如聞伊豆國地震爲變、里落不完、人物損傷、或被壓沒、靈譴不虛、必應批政、瞻言往躅、內媿予懷、傳不云乎、人惟邦本、々固邦寧、朕之中襟、諒切字育、故令殊發中使、就加慰撫、其人居散逸、生業陷失者、使等與所在國吏斟量、除當年租調、并開倉賑救、助修屋宇、淪亡之徒、務從葬埋、夫化之所被、無隔華夷、惠之攸覃、必該中外、宜不論民夷、普施優恤、詳暢寬弘之愛、副朕推溝之懷、

○地震ノ日ハ、他ニ考フベキナシ、

同九年二月三日戊辰、京都地震フ、

(續日本後紀)^{十一}

承和九年二月丙寅朔、戊辰、地震、
同月二十九日甲午、京都地震フ、

(續日本後紀)^{十一}

甲午、地震、

三月十六日辛亥、京都地震フ、

(續日本後紀)^{十一}

三月丙申朔、辛亥、地震、

六月十五日戊寅、京都地震フ、

(續日本後紀)^{十二}

六月甲子朔、戊寅、地震、

八月十四日乙亥、京都地震フ、

(續日本後紀)^{十二}

八月壬戌朔、乙亥、地震、

十一月十四日甲辰、京都地震フ、

(續日本後紀)^{十二}

十一月辛卯朔、甲辰、地震、

十二月十二日壬申、京都地震フ、

(續日本後紀)^{十二}

十二月辛酉朔、壬申、地震、

同十年五月十三日辛丑、京都地震フ、

(續日本後紀)^{十三}

承和十年五月己丑朔、辛丑、地震、

十一月九日癸巳、京都地震フ、

(續日本後紀)^{十三}

十一月乙酉朔、癸巳、地震、

同十二年八月四日戊寅、是夜、京都地震フ、

(續日本後紀)^{十五}

承和十二年八月乙亥朔、戊寅、此夜地震、

同月二十五日己亥、京都地震フ、

(續日本後紀)^{十五}

己亥、地震、

○コノ地震、流布本ニハ缺ケタリ、今細井貞藏藏古鈔本、豐宮崎文庫本、類聚國史等ニ據リテコレヲ補ヘリ、

同十三年二月二十七日戊戌、京都地震フ、

(續日本後紀)^{十六}

承和十三年二月壬申朔、戊戌、地震、

嘉祥元年二月二十二日壬子、京都地震フ、

(續日本後紀)^{十八}

承和十五年^{○嘉祥元年}二月辛卯朔、壬子、地震、聲如雷、群犬驚吠、

○類聚國史、單ニ地震ニ作レリ、

三月八日丁卯、京都地震フ、

(續日本後紀) 十八

三月庚申朔、丁卯、大地頻震、

○コレ及ビ下ノ二震ハ、類聚國史ニ載セズ、

同月二十八日丁亥、京都地震フ、

(續日本後紀) 十八

丁亥、地震、

四月三日壬辰、京都地震フ、

(續日本後紀) 十八

四月庚寅朔、壬辰、地震、

五月二十二日庚辰、京都地震フ、

(續日本後紀) 十八

五月己未朔、庚辰、是日地震、

六月二十四日辛亥、京都地震フ、

(續日本後紀) 十八

六月戊子朔、辛亥、地震、

同月二十五日壬子、京都地震フ、

(續日本後紀) 十八

壬子、地震、

十月七日癸巳、京都地震フ、

(續日本後紀) 十八

冬十月丁亥朔、癸巳、地震、

同月十三日己亥、京都地震フ、

(類聚國史) 十七

嘉祥元年十月己亥、地震、

同月二十日丙午、京都地震フ、

(續日本後紀) 十八

丙午、地震、

十二月二日丁亥、京都地震フ、

(續日本後紀) 十八

十二月丙戌朔、丁亥、地震、

同二年三月十日甲子、京都地震フ、

(續日本後紀) 十九

嘉祥二年三月乙卯朔、甲子、地震、

四月十三日甲申、京都地震フ、

(續日本後紀) 十九

夏四月甲申朔、丙申、地震、

七月四日乙卯、京都地震フ、

〔續日本後紀〕^{十九}

秋七月壬子朔、乙卯、地震、

同月十九日庚午、京都地震フ、

〔續日本後紀〕^{十九}

庚午、地震、

同三年一月三日壬午、京都地震フ、

〔續日本後紀〕^{二十}

嘉祥三年春正月庚辰朔、壬午、地震、

同月二十三日壬寅、京都地震フ、

〔續日本後紀〕^{二十}

壬寅、地震、

二月二十一日庚午、京都地震フ、

〔續日本後紀〕^{二十}

二月〔庚戌朔〕、庚午、地震、

三月五日癸未、京都地震フ、

〔續日本後紀〕^{二十}

三月己卯朔、癸未、地震、

同月二十一日己亥、京都地震フ、

〔續日本後紀〕^{二十}

己亥、地震、

四月六日癸丑、京都地震フ、

〔文德實錄〕^一

嘉祥三年夏四月〔戊申朔〕、癸丑、地震、

同月十五日壬戌、京都地震フ、

〔文德實錄〕^一

壬戌、地震、

八月二十六日辛未、京都地震フ、

〔文德實錄〕^二

八月〔丙午朔〕、辛未、地震、自西北來、鷄雉皆驚、

十月十六日庚申、出羽國地大ニ震ヒ、國府井口ノ

地、山谷處ヲ易フ、又海波ヲ颺ゲ、壓死スルモノ

甚ダ衆シ、

〔文德實錄〕^二

冬十月乙巳朔、庚申、出羽國上言、地大震裂、山谷易處、壓死

者衆、

十一月甲戌朔、丙申、詔曰、紫極高映、運亨毒而不言、黃屋尊居、播惠愛而無
侍、故助華繼躅、未隔於勤勞、禹履垂風、猶同於含育、朕忝奉先訓、虔撫令圖、
衾荼蓼以銷神、睠烝庶以刻思、而今至誠不暢、小信未孚、陰德僭和、柔祇告譴、
出羽州壤、偏應銅龍之機、邊府黎甿、空被鼻衄之害、邑居震蕩、陷厚載而不安、

嘉祥三年 仁壽元年

城柵傾頽、想艱虞而益恐、咸瀕子視、或至於死傷、獨作母臨、何懈於拯救、宜馳星使、就展恩光、其被災尤甚、不能自存、使國商量、蠲免租調、并不問民秋、開倉廩資振其生業、莫使重困、崩墻毀屋之下、所有殘屍露骸、官爲收埋、務申優恤、庶俾瘞凍者知挾纊之溫、阻飢者得廩宰之飽、

〔二代實錄〕^{五十}

仁和三年五月廿日癸巳、式部省奏諸國銓擬郡司擬文、(中略)先是、出羽守從五位下坂上大宿禰茂樹言上、國府在出羽郡井口地、即是去延曆年中、陸奧守從五位上小野朝臣守、據大將軍從三位坂上大宿禰田村麻呂論奏所建也、去嘉祥三年、地大震動、形勢變改、既成雲泥、加之海水漲移、追府六里所、大川崩壞、去渥一町餘、兩端受害、無力隄塞、湮沒之期在於日暮、望請、遷建最上郡大山鄉保寶土野、據其險固、避彼危殆者、(下略)

仁壽元年一月十二日乙酉、京都地震フ、

〔文德實錄〕^三

嘉祥四年○仁壽元年春正月甲戌朔、乙酉、地震、

二月二日乙巳、京都地震フ、

〔文德實錄〕^三

二月甲辰朔、乙巳、地震、

三月十五日丁亥、京都地震フ、

〔文德實錄〕^三

三月癸酉朔、丁亥、地震、

四月四日丙午、京都地震フ、

〔文德實錄〕^三

夏四月癸卯朔、丙午、地震、

同月二十九日辛未、京都地震フ、

〔文德實錄〕^三

辛未晦、地震、

五月十一日壬午、京都地震フ、

〔文德實錄〕^三

五月壬申朔、壬午、地震、

同月二十四日乙未、京都地震フ、

〔文德實錄〕^三

乙未、地震、

七月八日戊寅、京都地震フ、

〔文德實錄〕^三

秋七月辛未朔、戊寅、地震、

十月五日癸卯、京都地震フ、

〔文德實錄〕^三

冬十月己亥朔、癸卯、地震、

同月十三日辛亥、京都地震フ、

〔文德實錄〕^三

辛亥、地震、

十一月二十一日己丑、京都地震フ、

〔文德實錄〕^三

十一月己巳朔、己丑、地震、

同二年二月三日庚子、京都地震フ、

〔文德實錄〕^四

仁壽二年二月戊戌朔、庚子、地震、

三月十二日戊寅、京都地震フ、

〔文德實錄〕^四

三月丁卯朔、戊寅、地震、

四月十八日甲寅、京都地震フ、

〔文德實錄〕^四

夏四月丁酉朔、甲子、地震、

六月三日戊戌、京都地震フ、

〔文德實錄〕^四

六月丙申朔、戊戌、地震、

八月二十九日癸亥、京都地震フ、

〔文德實錄〕^四

八月乙未朔、癸亥晦、地震、

閏八月二十二日乙酉、京都地震フ、

〔文德實錄〕^四

閏八月甲子朔、乙酉、地震、

九月八日辛丑、京都地震フ、

〔文德實錄〕^四

九月甲午朔、辛丑、地震、

十月五日丁卯、京都地震フ、

〔文德實錄〕^四

冬十月癸亥朔、丁卯、地震、

同月十八日庚辰、京都地震フ、

〔文德實錄〕^四

庚辰、地震、有聲如雷、

十一月七日己亥、京都地震フ、

〔文德實錄〕^四

十一月癸巳朔、己亥、地震、

同三年一月十三日甲辰、京都地震フ、

〔文德實錄〕^五

仁壽三年春正月壬辰朔、甲辰、地震、

同月五日丙午、京都地震フ、

〔文德實錄〕^五

丙午、地又震、

○コノ地震、流布本ニ載セズ、今一本及ビ類聚國史ニ據リテ之ヲ補ヘリ、

三月十八日戊申、京都地震フ、

(文德實錄)五

三月辛卯朔、戊申、地震、

四月二日壬戌、京都地震フ、

(文德實錄)五

夏四月辛酉朔、壬戌、地震、

七月四日癸巳、京都地震フ、

(文德實錄)五

秋七月庚寅朔、癸巳、地震、

同月十五日甲辰、京都地震フ、

(文德實錄)五

甲辰、地震、

同月二十二日辛亥、京都地震フ、

(文德實錄)五

辛亥、地震、

八月二十四日壬午、京都地震フ、

(文德實錄)五

八月己未朔、壬午、地震、

十月二日己未、京都地震フ、

(文德實錄)五

冬十月戊午朔、未己、地震、

十一月十三日己亥、京都地震フ、

(文德實錄)五

十一月丁亥朔、己亥、地震、

齊衡元年五月十七日庚子、京都地震フ、

(文德實錄)六

仁壽四年○齊衡元年五月甲申朔、庚子、地震、

六月三十日癸未、京都地震フ、

(文德實錄)六

六月甲寅朔、癸未、地震、

八月一日癸丑、京都地震フ、

(文德實錄)六

八月癸丑朔、地震、

九月二十日壬寅、京都地震フ、

(文德實錄)六

九月癸未朔、壬寅、地震、

十一月三日甲申、京都地震フ、

〔文德實錄〕^六

十一月壬午朔、甲申、地震、

同月二十二日癸卯、京都地震フ、

〔文德實錄〕^六

癸卯、地震、

同二年四月二日庚戌、京都地震フ、

〔文德實錄〕^七

齊衡二年夏四月己酉朔、庚戌、地震、

五月十日丁巳、京都地震フ、

〔文德實錄〕^七

五月戊申朔、丁巳、地震、

同月十一日戊午、京都地震フ、

〔文德實錄〕^七

戊午、地亦震、

六月二十一日戊戌、京都地震フ、

〔文德實錄〕^七

六月戊寅朔、戊戌、地震、

同月二十五日壬寅、京都地震フ、

〔文德實錄〕^七

壬寅、地震、

七月二十六日壬申、京都地震フ、

〔文德實錄〕^七

秋七月丁未朔、壬申、地震、

八月一日丁丑、京都地震フ、

〔文德實錄〕^七

八月丁丑朔、地震、

同月二日戊寅、京都地震フ、

〔文德實錄〕^七

戊寅、地亦震、

同月二十五日辛丑、京都地震フ、

〔文德實錄〕^七

辛丑、地震、

九月九日乙卯、是夜、京都地震フ、

〔文德實錄〕^七

九月丁未朔、乙卯、是夜、地震、

同月十日丙辰、京都地震フ、

〔文德實錄〕^七

震災豫防調查會報告第四十六號

甲

丙辰、地亦震、

同月十九日乙丑、京都地震フ、

〔文德實錄〕七

乙丑、地震、

同月二十日丙寅、京都地震フ、

〔文德實錄〕七

丙寅、地亦震、

同月二十九日乙亥、京都地震フ、

〔文德實錄〕七

乙亥晦、地震、

十月三日戊寅、京都地震フ、

〔文德實錄〕七

冬十月丙子朔、戊寅、地震、

十一月十五日庚申、京都地震フ、

〔文德實錄〕七

十一月丙午朔、庚申、地震、

十二月十二日丁亥、京都地震フ、

〔文德實錄〕七

十二月丙子朔、丁亥、地震、

同三年二月二十日癸巳、京都地震フ、

〔文德實錄〕八

齊衡三年二月甲戌朔、癸巳、地震、有聲如雷、

同月二十一日甲午、京都地震フ、

〔文德實錄〕八

甲午、地亦震、

三月、是月、京都地數、震ヒ、屋舍佛塔等傾毀セリ、

〔文德實錄〕八

三月、是月、地數、震、京師及城南、或屋舍毀壞、或佛塔倚傾、

四月一日癸酉、京都地震フ、

〔文德實錄〕八

夏四月癸酉朔、地震、

同月二日甲戌、京都地震フ、

〔文德實錄〕八

甲戌、地震、

六月一日壬申、京都地震フ、

〔文德實錄〕八

六月壬申朔、地震、

同月二日癸酉、京都地震フ、

〔文德實錄〕^八

癸酉、地亦震、

七月十六日丙辰、京都地震フ、

〔文德實錄〕^八

秋七月辛丑朔、丙辰、地震、

同月十八日戊午、京都地震フ、

〔文德實錄〕^八

戊午、地震、

同月二十八日戊辰、京都地震フ、

〔文德實錄〕^八

戊辰、地震、

九月二十一日辛酉、京都地震フ、

〔文德實錄〕^八

九月辛丑朔、辛酉、地震、

同月二十五日乙丑、京都地震フ、

〔文德實錄〕^八

乙丑、地震、

十月一日辛未、京都地震フ、

〔文德實錄〕^八

冬十月辛未朔、地震、

同月十八日戊子、京都地震フ、

〔文德實錄〕^八

戊子、地震、

同月二十四日甲午、京都地震フ、

〔文德實錄〕^八

甲午、地震、

同月二十五日乙未、京都地震フ、

〔文德實錄〕^八

乙未、地亦震、

十一月一日庚子、京都地震フ、

〔文德實錄〕^八

十一月庚子朔、地亦震、

同月二日辛丑、京都地震フ、

〔文德實錄〕^八

辛丑、地震、

同月十四日癸丑、京都地震フ、

〔文德實錄〕^八

癸丑、地震、

十二月十日己卯、京都地震フ、

〔文德實錄〕^八

十二月庚午朔、己卯、地震、

天安元年二月二日庚午、京都地震フ、

〔文德實錄〕^九

齊衡四年^{○天安元年}二月己巳朔、庚午、地震、

同月七日乙亥、京都地震フ、

〔文德實錄〕^九

乙亥、地震、

同月十四日壬午、京都地震フ、

〔文德實錄〕^九

壬午、地震、

同月十六日甲申、京都地震フ、

〔文德實錄〕^九

甲申、地震、

同月二十一日己丑、京都地震フ、

〔文德實錄〕^九

己丑、地震、

四月二十日丁亥、京都地震フ、

〔文德實錄〕^九

夏四月戊辰朔、丁亥、地震、

五月十一日丁未、京都地震フ、

〔文德實錄〕^九

五月丁酉朔、丁未、地震、

同月二十日丙辰、京都地震フ、

〔文德實錄〕^九

丙辰、地震、

七月八日癸卯、京都地震フ、

〔文德實錄〕^九

七月丙申朔、癸卯、地震、

〔類聚國史〕^{百七十一}

天安元年秋七月癸卯、地大震、

〔參考〕

〔文德實錄〕^九

秋七月丙申朔、己亥、^日四雷雨、^日巽維有聲如雷四度、^日辛丑、^日六乾維有聲如雷五
六度、又巽維時々有聲如雷、^日癸卯、^日八地震、乾巽兩維有聲如雷、

同月二十四日己未、是夜、京都地震フ、

〔文德實錄〕^九

己未、夜地震、其響如雷、

九月二十五日己未、京都地震フ、

〔文德實錄〕^九

九月乙未朔、己未、地震、

十月九日癸酉、京都地震フ、

〔文德實錄〕^九

冬十月乙丑朔、癸酉、地震、

同二年三月二十三日甲申、京都地震フ、

〔文德實錄〕^十

天安二年三月壬戌朔、甲申、地震、

四月二十三日甲寅、京都地震フ、

〔文德實錄〕^十

夏四月壬辰朔、甲寅、地震、

五月二十六日丙戌、京都地震フ、

〔文德實錄〕^十

五月辛酉朔、丙戌、地震、

六月十三日壬寅、京都地震フ、

〔文德實錄〕^十

六月庚寅朔、壬寅、地震、

九月二十二日庚辰、京都地震フ、

〔三代實錄〕^一

天安二年九月廿二日庚辰、地震、

十一月九日丙寅、京都地震フ、

〔三代實錄〕^一

十一月九日丙寅、地震、

十二月十三日庚子、京都地震フ、

〔三代實錄〕^一

十二月十三日庚子、地震、

貞觀元年七月二十七日庚辰、京都地震フ、

〔三代實錄〕^三

貞觀元年秋七月廿七日庚辰、地震、

八月八日辛卯、京都地震フ、

〔三代實錄〕^三

八月八日辛卯、地震、

九月十四日丙寅、京都地震フ、

〔三代實錄〕^三

九月十四日丙寅、地震、

十月二十九日辛亥、京都地震強ク震フ、

〔三代實錄〕^三

震災豫防調查會報告第四十六號

甲

冬十月廿九日辛亥晦、地震、

〔類聚國史〕^{十一}

貞觀元年十月廿九日辛亥晦、地大震、

十一月十二日癸亥、京都地震フ、

〔三代實錄〕^三

十一月十二日癸亥、地震、

同二年四月二十二日壬寅、京都地震フ、

〔三代實錄〕^四

貞觀二年夏四月廿二日壬寅、地震、

五月五日甲寅、京都地震フ、

〔三代實錄〕^四

五月五日甲寅、地震、雷電雨雹、

同月十八日丁卯、京都地震フ、

〔三代實錄〕^四

十八日丁卯、地震、雷○類聚國史、雷ノ下、雨雹、ニ電ノ字アリ、

六月十七日丙申、京都地震フ、

〔三代實錄〕^四

六月十七日丙申、地震、

同月二十二日辛丑、京都地震フ、

〔三代實錄〕^四

廿二日辛丑、地亦震、

同月二十五日甲辰、京都地震フ、

〔三代實錄〕^四

廿五日甲辰、地震、

七月十四日壬戌、京都地震フ、

〔三代實錄〕^四

秋七月十四日壬戌、地震、

同月十七日乙丑、京都地震フ、

〔三代實錄〕^四

十七日乙丑、地震、

同月二十四日壬申、京都地震フ、

〔三代實錄〕^四

廿四日壬申、地震、

九月七日甲寅、京都地震フ、

〔三代實錄〕^四

九月七日甲寅、地震、

十月七日癸未、京都地震フ、

〔三代實錄〕^四

冬十月七日癸未、地震、

閏十月一日丁未、京都地震フ、

(三代實錄)四

閏十月丁未朔、地震、

同二十三日己巳、京都地震フ、

(三代實錄)四

廿三日己巳、地震、

十二月四日己酉、京都地震フ、

(三代實錄)四

十二月丙午朔、四日己酉、地震、

同三年一月九日甲申、京都地震フ、

(三代實錄)五

貞觀三年春正月九日甲申、地震、

四月七日辛亥、京都地震フ、

(三代實錄)五

夏四月七日辛亥、地震、

五月十三日丙戌、京都地震フ、

(三代實錄)五

五月十三日丙戌、地震、

同月十九日壬辰、京都地震フ、

(三代實錄)五

十九日壬辰、地震、

同月二十日癸巳、京都地震フ、

(三代實錄)五

廿日癸巳、地震、

六月二十三日丙寅、京都地震フ、

(三代實錄)五

六月廿三日丙寅、地震、

八月十七日戊午、京都地震フ、

(三代實錄)五

八月十七日戊午、地震、

同四年一月十一日庚辰、京都地震フ、

(三代實錄)六

貞觀四年春正月十一日庚辰、地震、

同月二十五日甲午、京都地震フ、

(三代實錄)六

廿五日甲午、地震、

二月十七日丙辰、京都地震フ、

震災豫防調查會報告第四十六號

甲

〔三代實錄〕^六

二月十七日丙辰、地震、

同月二十五日甲子、京都地震フ、

〔三代實錄〕^六

廿五日甲子、地震、

三月十一日己卯、京都地震フ、

〔三代實錄〕^六

三月十一日己卯、地震、

同月二十八日丙申、京都地震フ、

〔三代實錄〕^六

廿八日丙申、地震、

五月十六日癸未、京都地震フ、

〔三代實錄〕^六

五月十六日癸未、地震、

六月十六日癸丑、京都地震フ、

〔三代實錄〕^六

六月十六日癸丑、地震、

七月二十一日戊子、京都地震フ、

〔三代實錄〕^六

七月廿一日戊子、地震、

同月二十七日甲午、京都地震フ、

〔三代實錄〕^六

廿七日甲午、地震、

九月十五日辛巳、京都地震フ、

〔三代實錄〕^六

九月十五日辛巳、地震、

同月二十一日丁亥、京都地震フ、

〔三代實錄〕^六

廿一日丁亥、地震、

同月二十四日庚寅、京都地震フ、

〔三代實錄〕^六

廿四日庚寅、地震、

同月二十九日乙未、京都地震フ、

〔三代實錄〕^六

廿九日乙未晦、地震、

十月九日甲辰、京都地震フ、

〔三代實錄〕^六

十月九日甲辰、地震、

同月二十八日癸亥、京都地震フ、

(三代實錄)六

廿八日癸亥、地震、

十一月三日丁卯、京都地強ク震フ、

(三代實錄)六

十一月三日丁卯、地大震動、

(類聚國史)垣七

十一月三日丁卯、地震、

十二月十六日庚戌、京都地震フ、

(三代實錄)六

十二月十六日庚戌、地震、

同月二十七日辛酉、京都地震フ、

(三代實錄)六

廿七日辛酉、地震、

同五年二月四日丁酉、京都地震フ、

(三代實錄)七

貞觀五年二月四日丁酉、地震、

四月十四日丙午、京都地震フ、

(三代實錄)七

夏四月十四日丙午、地震、

六月十七日戊申、越中、越後兩國、地大ニ震フ、

(三代實錄)七

六月十七日戊申、越中、越後等國、地大震、陵谷易處、水泉涌出、壞民廬舍、壓死者衆、自此以後、每日常震、

閏六月九日庚午、京都地震フ、

(三代實錄)七

閏六月九日庚午、地震、

八月八日戊辰、京都地震フ、

(三代實錄)七

八月八日戊辰、地震、

九月八日丁酉、京都地震フ、

(三代實錄)七

九月八日丁酉、地震、

十一月十三日壬寅、京都地震フ、

(三代實錄)七

十一月十三日壬寅、地震、

同六年七月十七日辛丑、駿河國富士山火ヲ噴キ、土石鑠流シテ甲斐國八代郡本栖、剗ノ兩湖、及ビ民家ヲ埋沒ス、

〔三代實錄〕八

貞觀六年七月十七日辛丑、甲斐國言、駿河國富士大山、忽有
暴火、燒碎崗巒、草木焦熱、土鑠石流、埋八代郡本栖並剗兩水
海、水熱如湯、魚鼈皆死、百姓居宅、與海共埋、或有宅無人、其
數難記、兩海以東亦有水海、名曰河口海、火焰赴河口海、本栖
剗等海、未燒埋之前、地大震動、雷電暴雨、雲霧晦冥、山野難
辨、然後有此災異焉、

八月五日己未、下知甲斐國司云、駿河國富士山火、彼國言上、決之著龜云、淺間
名神禰宜祝等不勤齋敬之所致也、仍應鎮謝之狀、告知國訖、宜亦奉幣解謝焉、

九月四日戊子、京都地震フ、

〔三代實錄〕九

九月四日戊子、地震、

同月二十六日庚戌、京都地震フ、

〔三代實錄〕九

廿六日庚戌、地震、

十月三日丙辰、肥後國阿蘇山ノ神池震動シ、池水

空中ニ沸騰ス、又比賣神嶺ノ一石神頽崩セリ、

〔三代實錄〕九

十二月廿六日己卯、太宰府言、肥後國阿蘇郡正二位勳五等健
磐龍命神靈池、去十月三日夜、有聲震動、池水沸騰空中、東西
洒落、其落東方者如布延縵、廣十許町、水色如漿、黏着草木、
雖經旬日不消解、又比賣神嶺、元來有三石神、高四許丈、同夜

一石神頽崩、府司等決之龜筮云、應有火疫之災、

同月九日壬戌、京都地震フ、

〔三代實錄〕九

冬十月九日壬戌、地震、

同月十二日乙丑、京都強震アリ、

〔三代實錄〕九

十二月乙丑、地大震動、

同七年一月十四日丙申、京都地震フ、

〔三代實錄〕十

貞觀七年春正月十四日丙申、地震、

同月二十九日辛亥、京都地震フ、

〔三代實錄〕十

廿九日辛亥、地震、

三月二十二日癸卯、京都地震フ、

〔三代實錄〕十

三月廿二日癸卯、地震、

四月十二日壬戌、京都地震フ、

〔三代實錄〕十

夏四月十二日壬戌、地震、

九月二十四日壬寅、京都地震フ、

(三代實錄)^{十一}

九月廿四日壬寅、地震、

十一月一日戊寅、京都地震フ、

(三代實錄)^{十一}

十一月戊寅朔、地震、

同月十四日辛卯、是夜、京都地震フ、

(三代實錄)^{十一}

十四日辛卯、是夜、地震、

十二月二日己酉、京都地震フ、

(三代實錄)^{十一}

十二月戊申朔、二日己酉、地震、

同八年一月二十五日壬寅、京都地震フ、

(三代實錄)^{十二}

貞觀八年春正月廿五日壬寅、地震、

閏三月五日庚戌、京都地震フ、

(三代實錄)^{十二}

閏三月五日庚戌、地震、

六月七日庚辰、京都地震フ、

(三代實錄)^{十三}

六月七日庚辰、地震、

同月十六日己丑、京都地震フ、

(三代實錄)^{十三}

十六日己丑、地震、

八月十五日丁亥、京都地震フ、

(三代實錄)^{十三}

八月十五日丁亥、地震、

十月十九日庚寅、京都地震フ、

(三代實錄)^{十三}

冬十月十九日庚寅、地震、

十一月七日戊申、是夜、京都地震フ、

(三代實錄)^{十三}

十一月七日戊申、此夜地震、

十二月十日辛巳、京都地震フ、

(三代實錄)^{十三}

十二月十日辛巳、地震、

同九年一月二十日己酉、豐後國速見郡鶴見山ノ

三池震動シ、沙泥ヲ飛シテ數里外ニ及ベリ、

(三代實錄)^{十四}

(三代實錄)^{十四}

二月廿六日丙申、太宰府言、從五位上火男神、從五位下火賣神三社、在豐後國速見郡鶴見山嶺、山頂有三池、一池泥水色青、一池黑、一池赤、去正月廿日地震動、其聲如雷、俄而鼻如硫黃、遍滿國內、磐石飛亂、上下無數、石大者方丈、小者如甕、晝黑雲蒸、夜炎火熾、沙泥雪散、積於數里、池中元出溫泉、泉水沸騰、自成河流、山脚道路、往還不通、溫泉之水、入於衆流、魚醉死者千萬數、其震動之聲、經歷三日、

同月二十七日戊辰、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{十三}

貞觀九年、春正月廿七日戊辰、地震、

二月一日辛未、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{十四}

二月辛未朔、地震、

五月十二日庚戌、肥後國阿蘇山震動シテ、二百五十餘丈崩レタリ、

〔三代實錄〕^{十四}

八月六日壬申、太宰府言、肥後國阿蘇郡正二位勳五等健磐龍

命神、正四位下姫神所居山嶺、去五月十一日夜奇光照耀、十

二日朝震動乃崩、廣五十餘丈、長二百五十餘丈、

八日甲戌、下知太宰府、令豐後國鎮謝神山崩之恠焉、

同月十三日辛亥、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{十四}

五月十三日辛亥、地震、

六月三十日丁酉、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{十四}

六月卅日丁酉、地震、

七月二十五日壬戌、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{十四}

秋七月廿五日壬戌、地震、

八月十四日庚辰、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{十四}

八月十四日庚辰、地震、

同月二十五日辛卯、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{十四}

廿五日辛卯、地震、

九月六日壬寅、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{十四}

九月六日壬寅、地震、

十月五日庚午、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{十四}

冬十月五日庚午、地震、

同十年四月十三日丁丑、京都地震フ、

(三代實錄)十五

貞觀十年四月十三日丁丑、地震、

四月二十八日壬辰、京都地震フ、

(三代實錄)十五

四月廿八日壬辰、地震、

五月十九日壬子、京都地震フ、

(三代實錄)十五

五月十九日壬子、地震、

七月八日己亥、播磨、山城二國、地大ニ震フ、

(三代實錄)十五

秋七月八日己亥、地震動、内外垣屋、往々頽破、

十五日丙午、播磨國言、今月八日地大震動、諸郡官舎、諸定額
寺堂塔、皆盡頽倒、

同月九日庚子、京都地震フ、

(三代實錄)十五

九日庚子、地震、

同月十二日癸卯、京都地震フ、

(三代實錄)十五

十二日癸卯、地震、

同月十三日甲辰、京都地震フ、

(三代實錄)十五

十三日甲辰、地震、

同月十六日丁未、京都地震フ、

(三代實錄)十五

十六日丁未、地震、

同月二十日辛亥、京都地震フ、

(三代實錄)十五

廿日辛亥、地震、

同月二十一日壬子、京都地震フ、

(三代實錄)十五

廿一日壬子、地震、

八月十日辛未、京都地震フ、

(三代實錄)十五

八月十日辛未、地震、

同月十二日癸酉、京都地震フ、

(三代實錄)十六

十二日癸酉、地震、

震災豫防調查會報告第四十六號

甲

同月十四日乙亥、京都地震フ、

(三代實錄) 十五

十四日乙亥、地震、

同月十六日丁丑、京都地震フ、

(三代實錄) 十五

十六日丁丑、地震、

同月二十九日庚寅、京都地震フ、

(三代實錄) 十五

廿九日庚寅晦、地震、

九月七日丁酉、京都地震フ、

(三代實錄) 十五

九月七日丁酉、地震、

十月二十七日丁亥、京都地震フ、

(類聚國史) 七

十月廿七日丁亥、地震、

十一月二十七日丙辰、京都地震フ、

(三代實錄) 十五

十一月廿七日丙辰、地震、

十二月一日庚申、京都地震フ、

(三代實錄) 十五

十二月庚申朔、地震、

同月十日己巳、京都地震フ、

(三代實錄) 十五

十日己巳、地震、

同月十六日乙亥、京都地震フ、

(三代實錄) 十五

十六日乙亥、地震、

同十一年二月四日壬辰、是夜、京都地震フ、

(三代實錄) 十六

貞觀十一年二月四日壬辰、是夜地震、

同月二十九日丁巳、京都地震フ、

(三代實錄) 十六

廿九日丁巳、地震、

五月二十六日癸未、陸奥國地大ニ震ヒテ城邑ヲ

破壊シ、海嘯哮吼シテ溺死太多シ、

(三代實錄) 十六

五月廿六日癸未、陸奥國地大震動、流光如晝隱映、頃之、人民叫呼、伏不能起、或屋仆壓死、或地裂埋殮、馬牛駭奔、或相昇

踏、城廓倉庫、門櫓垣壁、頽落顛覆、不知其數、海口哮吼、聲似雷霆、驚濤涌潮、沂洄漲長、忽至城下、去海數百里、浩々不弁其涯涘、原野道路、惣爲滄溟、乘船不遑、登山難及、溺死者千許、資產苗稼、殆無子遺焉、

九月七日辛酉、以從五位上行左衛門權佐兼因幡權介紀朝臣春枝、爲檢陸奥國地震使、判官一人、主曲一人、

冬十月十三日丁酉、詔曰、羲農異代、未隔於憂勞、堯舜殊時、猶均於愛育、豈唯地震周日、姬文於是責躬、早流殷年、湯帝以之罪已、朕以寡昧、欽若鴻圖、脩德以奉靈心、蒞政而從民望、思使率土之內、同保福於遂生、編戶之間、共銷災於非命、而惠化罔孚、至誠不感、上玄降譴、厚載虧方、如聞陸奥國境地震尤甚、或海水暴溢而爲患、或城宇頽壓而致殃、百姓何辜、罹斯禍毒、憮然愧懼、責深在予、今遣使者、就布恩煦、使與國司、不論民夷、動自臨撫、既死者盡加收殮、其存者詳崇賑恤、其被害太甚者、勿輸租調、鰥寡孤窮、不能自立者、在所尉量、厚宜支濟、務盡矜恤之旨、俾若朕親觀焉、

七月七日癸亥、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{十六}

秋七月七日癸亥、地震、

九月二十五日己卯、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{十六}

九月廿五日己卯、地震、

十二月十三日丙申、是夜、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{十六}

十二月十三日丙申、是夜地震、

同月二十三日丙午、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{十六}

廿三日丙午、地震、

同十二年一月十六日己巳、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{十七}

貞觀十二年正月十六日己巳、地震、

三月七日己未、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{十七}

三月七日己未、地震、

五月六日丁巳、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{十八}

五月六日丁巳、地震、

十月七日乙酉、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{十七}

冬十月七日乙酉、地震、

十一月二十五日癸酉、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{十八}

十一月廿五日癸酉、地震、

同十三年七月十日甲寅、京都地震フ、

〔類聚國史〕^{十七}

震災豫防調查會報告第四十六號

甲

貞觀十三年七月十日甲寅、地震、

同月二十五日己巳、京都地震フ、

(類聚國史) 十七

廿五日己巳、地震、

八月七日辛巳、京都地震フ、

(類聚國史) 十七

八月七日辛巳、地震、

同月十七日辛卯、京都地震フ、

(類聚國史) 十七

十七日辛卯、地震、

九月二日乙亥、京都地震フ、

(類聚國史) 十七

九月甲戌朔、二日乙亥、地震、

同月二十八日辛丑、京都地震フ、

(三代實錄) 二十

貞觀十三年九月廿八日辛丑、地震、

十一月二十二日甲午、京都地震フ、

(三代實錄) 二十

十一月廿二日甲午、雷、地震、

同月二十九日辛丑、京都地震フ、

(三代實錄) 二十

廿九日辛丑晦、地震、

同十四年一月二十二日癸巳、京都地震フ、

(三代實錄) 二十一

貞觀十四年春正月廿二日癸巳、地震、

三月二十七日丁酉、京都地震フ、

(三代實錄) 二十一

三月廿七日丁酉、地震、

六月十六日乙卯、京都地震フ、

(類聚國史) 十七

貞觀十四年六月十六日乙卯、地震、

同月二十四日癸亥、京都地震フ、

(類聚國史) 十七

廿四日癸亥、地震、

同月二十九日戊辰、京都地震フ、

(類聚國史) 十七

廿九日戊辰、地震、

七月二十七日乙未、京都地震フ、

〔類聚國史〕垣

七月廿七日乙未、地震、

九月一日戊辰、京都地震フ、

〔三代實錄〕_{三十二}

九月戊辰朔、地震、

同月三十日丁酉、京都地震フ、

〔三代實錄〕_{三十二}

卅日丁酉、地震、

十月二日己亥、是夜、京都地震フ、

〔三代實錄〕_{三十二}

冬十月二日己亥、夜地震、

十一月十七日癸未、京都地震フ、

〔類聚國史〕垣

十一月十七日癸未、地震、

同月二十三日己丑、京都地震フ、

〔三代實錄〕_{三十二}

十一月廿三日己丑、地震、

同月二十八日甲午、京都地震フ、

〔三代實錄〕_{三十二}

廿八日甲午、地震、

十二月三日己亥、京都地震フ、

〔三代實錄〕_{三十二}

十二月丁酉朔、三日己亥、地震、

同十五年一月二十日丙戌、京都地震フ、

〔三代實錄〕_{三十三}

貞觀十五年春正月廿日丙戌、地震、

二月二日丁酉、京都地震フ、

〔三代實錄〕_{三十三}

二月二日丁酉、地震、

同月十八日癸丑、京都地震フ、

〔三代實錄〕_{三十三}

十八日癸丑、地震、

三月十六日庚辰、京都地震フ、

〔三代實錄〕_{三十三}

三月十六日庚辰、地震、

四月十四日戊申、京都地強ク震フ、

〔三代實錄〕_{三十三}

夏四月十四日戊申、地大震動、

震災豫防調查會報告第四十六號

甲

同月十八日壬子、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

貞觀十五年四月十八日壬子、地震、

同月二十四日戊午、京都地震フ、

(三代實錄) 二十三

四月廿四日戊午、地震、

五月一日甲子、京都地震フ、

(三代實錄) 二十三

五月甲子朔、地震、

同月十一日甲戌、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

五月十一日甲戌、地震、

六月十四日丁未、京都地震フ、

(三代實錄) 二十四

六月甲午朔、十四日丁未、地震、

九月十三日乙亥、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

九月十三日乙亥、地震、

十月二十九日庚申、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

十月廿九日庚申、地震、

同十六年二月十四日甲辰、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

貞觀十六年二月十四日甲辰、地震、

三月十六日乙亥、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

三月十六日乙亥、地震、

同月二十一日庚辰、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

廿一日庚辰、地震、

同月二十五日甲申、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

廿五日甲申、地震、

四月一日己丑、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

夏四月己丑朔、地震、

閏四月十八日丙子、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

閏四月十八日丙子、地震、

同月二十三日辛巳、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

廿三日辛巳、地震、

五月四日辛卯、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

五月戊子朔、四日辛卯、地震、

六月二十一日丁丑、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

六月廿一日丁丑、地震、

七月二日戊子、京都地震フ、

(三代實錄) 二十六

貞觀十六年秋七月丁亥朔、二日戊子地震、

九月十七日壬寅、京都地震フ、

(三代實錄) 二十六

九月十七日壬寅、地震、

十一月十三日戊戌、京都地震フ、

(三代實錄) 二十六

十一月十三日戊戌、地震、

十二月二十九日癸未、京都強震アリ、

(類聚國史) 十一

十二月廿九日癸未、酉時地大震動、

同十七年二月十二日丙寅、京都地震フ、

(三代實錄) 二十七

貞觀十七年二月十二日丙寅、地震、

同月十八日壬申、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

貞觀十七年二月十八日壬申、地震、

同月二十九日癸未、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

廿九日癸未晦、地震、

三月九日壬辰、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

三月九日壬辰、地震、

同月十四日丁酉、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

十四日丁酉、地震、

六月十日辛酉、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

六月十日辛酉、地震、

七月十三日己巳、京都地震フ、

震災豫防調查會報告第四十六號

甲

(三代實錄) 三十七

秋七月十三日己巳、地震、

八月十四日庚申、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

八月十四日庚申、地震、

同月十六日丙寅、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

十六日丙寅、地震、

同十八年五月十四日庚寅、京都地震フ、

(三代實錄) 三十八

貞觀十八年五月十四日庚寅、未時地震、

同月十五日辛卯、京都地震フ、

(三代實錄) 三十八

十五日辛卯、卯尅地震、

同月二十一日丁酉、京都地震フ、

(三代實錄) 三十八

廿一日丁酉、未尅地震、

六月十八日癸亥、京都地震フ、

(三代實錄) 三十九

六月十八日癸亥、酉尅地震、

七月二十八日癸卯、京都地震フ、

(三代實錄) 三十九

秋七月廿八日癸卯、夜地震、

十一月九日壬午、京都地震フ、

(三代實錄) 三十九

十一月九日壬午、地震、

元慶元年三月十一日壬子、京都強震アリ、

(三代實錄) 三十九

元慶元年三月十一日壬子、辰漏上四刻地大震、

五月十三日癸丑、京都地震フ、

(三代實錄) 三十一

五月十三日癸丑、地震、

七月十四日癸丑、京都地震フ、

(三代實錄) 三十二

七月十四日癸丑、申尅地震、

十月十七日甲申、京都地強ク震フ、

(三代實錄) 三十二

十月十七日甲申、地大震、

同月十八日乙酉、京都地震フ、

(三代實錄)三十二

十八日乙酉、地震、

同二年二月二十九日乙未、京都地震フ、

(三代實錄)三十三

元慶二年二月廿九日乙未、地震、

三月九日乙巳、京都地震フ、

(三代實錄)三十三

三月九日乙巳、地震、

七月四日丁酉、京都地震フ、

(三代實錄)三十四

秋七月四日丁酉、地震、

同月十一日甲辰、京都地震フ、

(三代實錄)三十四

十一日甲辰、夜地震、

同月二十五日戊午、京都地震フ、

(三代實錄)三十四

廿五日戊午、地震、

九月二十九日辛酉、相摸、武藏兩國、地大ニ震ヒ、

公私ノ屋舎破倒シテ一モ全キモノナシ、是日、關東諸國皆震フ、

(三代實錄)三十四

九月廿九日辛酉、夜地震、是日、關東諸國地大震裂、相摸武藏、特爲尤甚、其後五六日、震動未止、公私屋舎、一無全者、或地窓○類聚國史ニ作レリ陷、往還不通、百姓壓死、不可勝計、

(同書)四十

元慶五年冬十月三日戊寅、相摸國國分寺、金色藥師丈六像一體、挾侍菩薩像二體、元慶三年九月二十九日、遭地震皆悉摧破、其後火燒損、望請改造、以修御願、又依太政官去貞觀十五年七月二十八日符、以湧河寺爲國分尼寺、而同日地震、堂舎頽壞、請仍舊以本尼寺爲國分尼寺、詔並許之、

十月九日辛未、京都地震フ、

(三代實錄)三十四

冬十月九日辛未、地震、

同三年三月七日丁酉、京都地震フ、

(三代實錄)三十五

元慶三年三月七日丁酉、地震、

同月八日戊戌、京都地震フ、

震災豫防調査會報告第四十六號

甲

(三代實錄)三十五

八日戊戌、地震、

同月二十二日壬子、京都強震アリ、續テ又震フ、

(三代實錄)三十五

廿二日壬子、午一尅地大震動、四尅亦震、

同月二十九日己未、京都地震フ、

(三代實錄)三十五

廿九日己未晦、地震、

四月二日辛酉、京都地震フ、

(三代實錄)三十五

夏四月二日辛酉、地震、

(類聚國史)垣七

元慶三年四月二日辛酉、夜地震、

○國史夜ニ作り、實錄ト合ハズ、然レドモ今正ヲ執ルベキナシ、

同月七日丙寅、是夜、京都地震フ、

(類聚國史)垣七

七日丙寅、夜地震、

五月十五日甲辰、京都地震フ、

(類聚國史)垣七

五月十五日甲辰、地震、

六月十六日乙亥、京都地震フ、

(三代實錄)三十六

六月十六日乙亥、地震、

七月十九日丁未、京都地震フ、

(三代實錄)三十六

秋七月十九日丁未、地震、

八月二日己未、京都地震フ、

(三代實錄)三十六

八月二日己未、地震、

同月十四日辛未、京都地震フ、

(三代實錄)三十六

十四日辛未、地震、

同四年二月二十四日戊申、京都地震フ、

(三代實錄)三十七

元慶四年二月廿四日戊申、地震、

同月二十八日壬子、京都地震フ、

(三代實錄)三十七

廿八日壬子、地震、

四月二日乙酉、京都強震アリ、

(三代實錄)三十七

四月二日乙酉、大地震、

同月五日戊子、京都地震フ、

(三代實錄)三十七

五日戊子、地震、

同月十日癸巳、京都地震フ、

(三代實錄)三十七

十日癸巳、地震、

五月五日戊午、京都地震フ、

(三代實錄)三十七

五月五日戊午、地震、

七月十七日己巳、京都地震フ、

(三代實錄)三十八

秋七月十七日己巳、地震、

十月一日辛巳、是夜、京都地震フ、

(三代實錄)三十八

十月辛巳朔、夜地震、

同月二日壬午、京都地震フ、

(三代實錄)三十八

二日壬午、地亦震、

同月三日癸未、京都地震フ、

(三代實錄)三十八

三日癸未、地震、

同月十四日甲午、出雲國地大ニ震ヒ、官舎民屋多ク顛倒セリ、是日、京都モ地強ク震ヘリ、

(類聚國史)十一

元慶四年十月十四日甲午、地大震、

(三代實錄)三十八

廿七日丁未、出雲國言、今月十四日、地大震動、境内神社佛寺官舎、及百姓居廬、或顛倒或傾倚、損傷者衆、其後迄于二十二日、晝一二度、夜三四度、微々震動、猶未休止、

○實錄、コノ地震ヲ明年ニモ重載セリ、蓋、錯簡ナルベシ、

十一月二十五日乙亥、是夜、京都地震フ、

(三代實錄)三十九

十一月二十五日乙亥、是夜、地震、

十二月四日癸未、是夜、京都地強ク震フ、

(三代實錄)三十九

十二月四日癸未、是夜、地大震動、五六過乃止、

同月六日乙酉、是夜、京都地大ニ震ヒ、宮城ノ垣

墻及ビ官廳民廬、多ク頽損シ、餘震日ヲ涉レリ、

〔三代實錄〕^{三十九}

十二月六日乙酉、子時地大震動、自夜迄旦十六度震、大極殿

西北隅墜壇長石八間破裂、宮城垣墻、京師廬舍、頽損者往々

甚衆矣、

七日丙戌、陰陽寮奏言、地震之徵、合慎兵賊飢疫、是夜自戌至

子、地亦震動、

八日丁亥、自辰至丑、其間地四震、

九日戊子、夜地震二度、

十日己丑、是日地惣五震、

十一日庚寅、是日地數度震動、

十二日辛卯、子一尅地大震、寅四尅小震、

十三日壬辰、地震、

十四日癸巳、地震、

十七日丙申、地震、

十八日丁酉、地震、

十九日戊戌、戌時天有聲二度、地亦震、

廿一日庚子、戌一尅空中有聲、丑刻地震、

廿二日辛丑、辰時地大震、二動而止、

廿三日壬寅、地震、

廿四日癸卯、地震、

廿五日甲辰、地震、

廿九日戊申、地震、

同五年一月六日乙卯、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{三十九}

元慶五年正月六日乙卯、酉時地震、

同月十一日庚申、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{三十九}

十一日庚申、地震、

同月十二日辛酉、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{三十九}

十二日辛酉、地震、

同月十四日癸亥、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{三十九}

十四日癸亥、地震、

同月十六日乙丑、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{三十九}

十六日乙丑、地震、

二月三日辛巳、京都地震フ、

(三代實錄) 三十九

二月三日辛巳、地震、是日、於建禮門前修大祓、

同月二十三日辛丑、京都地震フ、

(三代實錄) 三十九

廿三日辛丑、地震、

四月三日庚辰、京都地震フ、

(類聚國史) 十一

元慶五年四月三日庚辰、地震、

同月四日辛巳、京都地震フ、

(三代實錄) 三十九

四月四日辛巳、地震、

五月十三日庚申、京都地震フ、

(三代實錄) 三十九

五月十三日庚申、地震、

六月二十五日辛丑、京都地震フ、

(三代實錄) 三十九

六月廿五日辛丑、地震、

九月十九日甲子、京都地震フ、

(三代實錄) 四十

九月十九日甲子、地震、

同月二十日乙丑、京都地震フ、

(三代實錄) 四十

廿日乙丑、亦震、

同月二十一日丙寅、京都兩次地震フ、

(三代實錄) 四十

廿一日丙寅、二度震、

十月五日庚辰、是夜、京都地震フ、

(三代實錄) 四十

冬十月五日庚辰、夜地震、

同月七日壬午、京都地震フ、

(三代實錄) 四十

七日壬午、地震○類聚國史、コノ地震ヲ載セス、

十二月八日壬午、京都地震フ、

(三代實錄) 四十

十二月八日壬午、地震、

同六年三月二十四日丙寅、京都地震フ、

(三代實錄) 四十一

元慶六年三月廿四日丙寅、地震、

元慶六年、七年、八年、仁和元年

六月十九日庚寅、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{四十二}

六月十九日庚寅、地震、

九月四日癸酉、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{四十二}

九月四日癸酉、地震、

十一月十六日甲申、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{四十二}

十一月十六日甲申、申時地震、

同七年六月三日丁酉、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{四十三}

元慶七年六月三日丁酉、地震、

同月二十八日壬戌、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{四十三}

廿八日壬戌、地震、

十月二十九日壬戌、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{四十四}

十月廿九日壬戌、地震、

同八年四月十四日甲辰、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{四十五}

元慶八年夏四月十四日甲辰、大風雨、亥時地震有聲、月在房宿、

同月十六日丙午、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{四十五}

十六日丙午、霜降氣寒、未時雷電、申時地震、

六月二十九日戊午、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{四十六}

六月廿九日戊午晦、地震、

十一月六日癸亥、是夜、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{四十六}

十一月六日癸亥、夜地震、

仁和元年二月十六日壬寅、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{四十七}

仁和元年二月十六日壬寅、地震、

三月十五日庚午、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{四十七}

三月十五日庚午、地震、

五月二十六日庚戌、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{四十七}

五月廿六日庚戌、地震、

七月十九日辛丑、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{四十八}

七月十九日辛丑、地震、

九月十三日甲午、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{四十八}

九月十三日甲午、西剋地震、

同月十四日乙未、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{四十八}

十四日乙未、卯時地震、

十二月二十日庚午、是夜、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{四十八}

十二月廿日庚午、巳時、天東南有聲、如高樓壞落、夜分地震、

有聲如雷、

同二年三月二十一日庚子、京都地震フ、

〔三代實錄〕^{四十九}

仁和二年三月廿一日庚子、地震、

四月十三日壬戌、京都地強ク震フ、

〔三代實錄〕^{四十九}

夏四月十三日壬戌、大地震、

〔類聚國史〕^垣

仁和二年四月十三日壬戌、地震、

五月二十四日癸卯、是夜、安房國黑雲アリ、南海

ヨリ群起シ、雷鳴地震通宵止マズ、明曉之ヲ望メ

バ、砂石粉土、山野田園ニ遍ネシ、

〔三代實錄〕^{四十九}

八月四日庚戌、勅令安房上總等國、重警不虞、先是安房國言

上、去五月二十四日夕、有黑雲、自南海群起、其中現電光、雷

鳴地震、通夜不止、二十六日曉、雷電風雨、巳時天色清朗、砂

石粉土、遍滿地上、山野田園、无所不降、或所厚二三寸、或處

僅蔽地、稼苗草木、皆悉凋枯、馬牛食黏粉草、死斃甚多、陰陽

寮占云、鬼氣御靈、忿怒成祟、彼國可慎疫癘之患、又國東南將

有兵賊之亂、由是預令戒嚴、

六月十五日癸亥、京都強震アリ、

〔三代實錄〕^{四十九}

六月十五日癸亥、地大震、

〔三代實錄〕^{四十九}

九月十一日丙戌、京都地震フ、

九月十一日丙戌、午刻地震、

仁和三年

同三年五月二十九日壬寅、京都地震フ、

(三代實錄)五十

仁和三年五月廿九日壬寅晦、地震、

七月二日癸酉、是夜、京都地震フ、

(三代實錄)五十

秋七月壬申朔、二日癸酉、夜地震、

同月六日丁丑、是夜、京都地又震フ、

(三代實錄)五十

六日丁丑、是夜地震、

同月三十日辛丑、山城、攝津以下五畿七道諸國、

地大ニ震フ、京都東西兩京ノ廬舍顛倒シ、壓死セ

ルモノ衆シ、近海ノ地、海嘯奔溢シ、就中、攝津害

ヲ被ルコト最モ甚シ、餘震日ヲ經レドモ止マズ、

(三代實錄)五十

卅日辛丑、申時地大震動、經歷數尅、震猶不止、

天皇出仁壽殿、御紫震殿南庭、命大藏省立七丈幄二爲御在

所、諸司舍屋、及東西京廬舍、往々顛覆、壓殺者衆、或有失神

頓死者、亥時亦震二度、五畿內七道諸國、同日大震、官舍多

損、海潮漲陸、溺死者不可勝計、其中攝津國尤甚、夜中東西有

聲如雷者二、

八月壬寅朔、晝夜地震二度、

二日癸卯、晝地震三度、

四日乙巳、地震五度、

五日丙午、晝地震五度、夜大震、京師人民、出自廬舍、居于衢

路、

六日丁未、停釋奠之禮、去月卅日、木工寮將領秦千本、檢校修

造職院、驚恐地震、失神而死、供祭諸司、觸此穢也、

七日戊申、未時地震、

九日庚戌、地震、

十三日甲寅、地震、

十四日乙卯、子時地震、

十六日丁巳、寅時地震、

廿二日癸亥、是夜子時地震、

廿三日甲子、未尅地震、

廿四日乙丑、丑時地震、寅時亦震、

大日本地震史料 卷之一 終

五二